

令和2年度 美術科

教科	芸術	科目	美術 I	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	高校生の美術 I (日本文教出版)						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、感じ取ったこと目的や機能から考える「鑑賞」の分野について学習します。
- ・一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現形式の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。完成作品のプレゼンテーションや相互鑑賞をおこないます。また展覧会を鑑賞してレポートを作成します。
- ・目的理解を明確にして意欲を高めるために、制作計画書やエスキース (下描き) 作成します。
- ・作品を効果的に展示する感性を發揮し、3 学期の二科展で発表し、作品を鑑賞します。

2 学習の到達目標

美術のさまざまな表現方法を理解し、技能を身につけ、自ら表現する力を培う。
また、美術に関する理解を深めることで、感性を高め、社会と個人 (自分) との関わりを感じ、生涯を通じて美術を愛好する心を育てる。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a: 美術への 関心・意欲・態度	b: 発想や 創意工夫の能力	c: 創造的な技能	d: 鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	美術の創造的活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身につけ、意図に応じて、表現方法を工夫して表わしている。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評 価 方 法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	制作の様子 アイデアスケッチ ワークシート 作品	制作の様子 作品	観察 ワークシート レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	授業説明・用具の扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション 教科書等を見ながら、国語科書写と芸術科書道の違いを知る。 ・用具の扱いや教室の使い方を確認する。 ・クロッキー 	○			○	a: 美術の多様な表現に関心を持ち、ここからの学習に意欲を高めている。 b: 美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化について理解を深める。 c: クロッキーの目的を理解し、鉛筆の特性を生かして表現している。 d: 美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化について理解を深める。	学習活動、 制作の様子 作品
	デザイン基礎・自分のマーク	[デザイン基礎・自分のマーク] <ul style="list-style-type: none"> ・客観的に自分を見つめて分析し、自分のマークを作成する。 ・プレゼンテーションをおこなう。 ・デザインの基本的な考え方やプレゼンテーションの方法を理解する 	○	○	○	○	a: 自分と向き合いマークを作成することに関心を持ち、形や色彩などの働きを考えながら構想を練り表現しようとしている。 b: 条件や美しさなどから形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 c: アクリル絵具の特性を生かし工夫して表現出来ている。 d: 作品の意図や工夫を理解し的確に伝えてられているか。	制作の様子 アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品 鑑賞活動
	素描・鉛筆デッサン	[デッサンの基礎(基礎形体と石をモチーフとして)] <ul style="list-style-type: none"> ・絵を描くための鉛筆の扱いについて知り、練習を積む。 ・構図の取り方や明暗のとらえ方を身につける。 ・対象をよく観察する力を養う。 	○		○		a: モチーフの特徴を表現することに関心を持ち、表現や観察の活動に主体的に取り組もうとしている。 c: 鉛筆・練消しゴム・画用紙の特性を生かし、工夫して表現している。	デッサン 制作の様子 制作途中の作品 作品

	立体基礎・走る石	<ul style="list-style-type: none"> ・粘土を使い、形を写し取り、アクリル絵具で着色。 ・粘土の中の空間におもちゃの車をつける。 ・相互評価 	○	○	○	○	<p>a: モチーフの特徴を表現することに関心を持ち、表現や観察の活動に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>b: 表現形式の特性を生かし、形体、色彩など工夫して表現の構想を練っている。</p> <p>c: 粘土やアクリル絵具など、用具の特性を生かし、工夫して表現している。</p> <p>d: よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めている。</p>	制作の様子 ワークシート 作品
夏休み課題	鑑賞レポート・自由制作	<p>[夏休みの課題]</p> <p>①高校展鑑賞レポート</p> <p>②自由制作</p>	○	○	○	○	<p>a: 多様な表現に関心を持ち、自分の興味関心がある分野の作品に意欲的に取り組む。</p> <p>b: 表現形式の特性を生かし、形体、色彩など工夫して表現の構想を練っている。</p> <p>c: 用具の特性を生かし、工夫して表現している。</p> <p>d: 美術作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などを感じ取り、作品に対する見方や感じ方、考え方などを持ち、理解している。</p>	レポート 作品
2学期	油彩基礎・樹のある風景	<p>[油彩基礎・静物]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・油絵道具の使い方、画材の特性、表現方法を学ぶ。 ・色についての基本的な知識を理解する。 ・クロッキーを通して対象となる樹をとらえ、構図を練る。 ・キャンバスで本画制作。 ・合評をおこなう。 	○	○	○	○	<p>a: 対象を見つめて表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>b: 表現形式の特性を生かし、形体、色彩など工夫して表現の構想を練っている。</p> <p>c: 用具の特性を生かし、工夫して表現している。</p> <p>d: よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めている。</p>	クロッキー 制作の様子 制作途中の 作品 鑑賞活動の 様子や発言 内容 作品

	藍染	<p>[藍染で布を染める]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・染の型のアイデアスケッチを作成する。 ・デザインを決め、工程を確認する。 ・藍で染める。 <p>・相互鑑賞</p>	○	○	○	○	<p>a: 藍染に関心を持ち、形や色彩などの働きを考えながら構想を練り表現しようとしている。</p> <p>b: 表現形式の特性を生かし、形体、色彩など工夫して表現の構想を練っている。</p> <p>c: 素材の特性を生かし、工夫して表現している。</p> <p>d: よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めている。</p>	<p>制作の様子</p> <p>ワークシート</p> <p>アイデアスケッチ</p> <p>作品</p>
	切り絵	<p>[切り絵]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詩や物語をモチーフとした切り絵を制作する。 ・図案はオリジナルとする。 ・切り絵の仕組みや装飾性を理解し、美しく表現する。 <p>・相互鑑賞</p>	○	○	○	○	<p>a: 切り絵に関心を持ち、形や色彩などの働きを考えながら構想を練り表現しようとしている。</p> <p>b: 表現形式の特性を生かし、形体、色彩など工夫して表現の構想を練っている。</p> <p>c: 素材の特性を生かし、工夫して表現している。</p> <p>d: 完成した作品の良さや美しさ、工夫などを感じ取り、理解を深めている。</p>	<p>制作の様子</p> <p>ワークシート</p> <p>アイデアスケッチ</p> <p>作品</p>
	3学期	金属加工	<ul style="list-style-type: none"> ・ピューターインゴットでキーホルダーをつくる。 ・デザインを考え、型を作って鋳造・研磨する。 ・身近なものを自ら生み出す楽しみを知る。 ・プレゼンテーションをおこなう。 	○	○	○	○	<p>a: 鋳金に関心を持ち、形や色彩などの働きを考えながら構想を練り表現しようとしている。</p> <p>b: 表現形式の特性を生かし、形体、色彩など工夫して表現の構想を練っている。</p> <p>c: 素材の特性を生かし、工夫して表現している。</p> <p>d: 完成した作品の良さや美しさ、工夫などを感じ取り、理解を深めている。</p>

※ 表中の観点について a:美術への関心・意欲・態度 b:発想や創意工夫の能力
c:創造的の技能 d:鑑賞の能力

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。